

「マムシ咬傷に対する抗毒素血清療法 の有用性についての調査研究」

医学情報の研究利用について

関西医科大学附属病院高度救命救急センターでは、このたび『マムシ咬傷に対する抗毒素血清の治療の有用性についての調査』を全国の施設と共同で研究を行うこととなりました。

1. 研究の対象

平成23年1月から平成28年10月までの期間に、マムシ咬傷後に全国の救命救急センターに搬送された患者さん。

2. 研究目的・方法

マムシ咬傷患者に対する抗毒素血清療法実施の実態と症状経過をもとに、抗毒素血清療法の有効性と有用性を分析します。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

年齢、性別、受傷部位、抗毒素血清を中心とした治療方法、臨床経過、入院日数、予後。

4. 外部への資料・情報の提供

今回の研究で得られた分析結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで発表されます。情報はそれ以外の目的には使用せず、外部への提供もしません。

5. 研究組織と各施設研究責任者（順不同）

近畿大学附属病院	北澤 康秀
岸和田徳洲会病院	篠崎 正博
愛知医科大学	津田 雅庸
関西医科大学附属病院	岸本 真房
和歌山県立医科大学	島 幸宏
兵庫県立淡路医療センター	林 孝俊
八戸市立市民病院	濱館 香菜
順天堂大学病院	柳川 洋一
君津中央病院	加古 訓之
水戸済生会総合病院	須田 高之
大津赤十字病院	松原 峰生

音羽病院	安田 冬彦
奈良県立医科大学	多田 祐介
神戸市立医療センター中央市民病院	有吉 孝一
岡山大学病院	内藤 宏道
山口大学医学部附属病院	藤田 基
高知医療センター	野島 剛
佐賀大学	三池 徹
済生会熊本病院	川野 雄一郎
大分市医師会立アルメイダ病院	稲垣 信幸
会津中央病院	土佐 亮一
札幌医科大学附属病院	上村 修二
国立病院機構災害医療センター	井上 和茂
日本医科大学多摩永山病院	諸江 雄太
日本医科大学千葉北総病院	八木 貴典
国立病院機構水戸医療センター	石上 耕司
自治医科大学	米川 力
前橋赤十字病院	白戸 康介
佐久医療センター	岡田 邦彦
信州大学医学部附属病院	高山 浩史
静岡県立総合病院	登坂 直規
岐阜大学医学部附属病院	山田 法顕
三重大学医学部附属病院救命救急センター	今井 寛
伊勢赤十字病院	説田 守道
大阪府立急性期・総合医療センター	藤見 聡
大阪府済生会千里病院	澤野 宏隆
関西医科大学総合医療センター	早川 航一
大阪府立中河内救命救急センター	塩野 茂
堺市立総合医療センター	森田 正則
大阪府泉州救命救急センター	井戸口 孝二
京都第二赤十字病院	飯塚 亮二
京都第一赤十字病院	竹上 徹朗
南和歌山医療センター	川崎 貞男
兵庫県立西宮病院	高岡 諒
兵庫医科大学救命救急センター	小谷 穰治
鳥取大学医学部	本間 正人
川崎医科大学付属病院	荻野 隆光

徳山中央病院	山下 進
徳島赤十字病院 救急部	福田 靖
高知赤十字病院	西山 謹吾
北九州総合病院	坂本 喜彦
飯塚病院	奥山 稔朗
社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院	爲廣 一仁
大分大学附属病院	竹中 隆一

6. 研究の資金源と研究に関わる利益相反の状況

研究に関わる必要経費は主管施設の近畿大学医学部救急医学教室の講座費から支払います。研究者には本研究に関わる利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究代表者：関西医科大学附属病院 高度救命救急センター

岸本 真房

〒573-1191 枚方市新町2丁目3番1号

電話：072-804-0101